

## 庄司薬局

(遠藤大騎さん、増川史華さん)

お客さんが持ってきた処方せんを読み上げ、調剤する庄司さんのお手伝いをしました。処方せんに書かれている薬の名前は聞きなれないカタカナや読めない漢字が多くて難しかったです。それに、お客さんの健康に関わることなので絶対に読み間違えないよう気を使いました。庄司さんは、お客さんの表情がよくなったり、薬の量が減ることがうれしく仕事の励みになると話していました。



## 横丁とうふ店

(八鍬修平さん、森さくらさん、高橋杏莉さん)

白い団子を串に刺したり、皿洗いや米の計量などを体験しました。お客さんの口に入るだんごなので、串刺しは専用の服を着て行き、衛生にとっても気を使っていました。お客さんが持ちやすいよう慎重に、まっすぐ中心に向かって刺すことを心がけました。小さな団子ですが、一本一本にたくさんの手間がかかっている、想像以上に体力を使う仕事だと知りました。

## そば吉峰

(後藤怜桜さん、長瀬叶翔さん)

開店前の準備やお客さんへの接客とそば打ちを体験しました。接客では星川さんに教えていただいたお客さんの心の動きを先に考えるということに心がけて、相手と同じ目線で話すことに気がつきました。そば打ち体験は生地をのぼす作業、そば切り包丁を入れるところ、同じ太さで切り続けることなどすべての作業がとても難しくプロのすごさを感じました。



## 尾花沢市消防本部

(遠藤太胡さん、須藤雄介さん)

心臓マッサージや人工呼吸など応急処置の仕方を学んだり、放水訓練を体験しました。消防署では実際の火事や交通事故を想定した訓練を毎日していて、仮眠室や通信室などもあってつねに24時間体制で働いています。水が出るホースはとても重かったのですが、火事の現場では体験したよりもっと大きな力がかかるホースを何時間も持ち続けなければいけないと聞き、カッコいい仕事の裏側を知ることができました。

## 「取材」を通して感じたこと

### 小玉 空さん

取材という仕事を通して、みんなが体験している仕事が多様なものなのか見ることができました。写真はどの撮った方がいいのか、インタビューは何を聞けばいいのかなど、はじめは何も分からなかったのですが、何度も体験することで少しずつできるようになり、手ごたえと達成感がありました。



### 大山 愛理さん

2日間の体験で「働く」って難しいなあと感じました。どの仕事もあいさつや相手への心配りを常に大切にしていました。頑張ったときの達成感や喜びは、学校生活でも仕事をするようになってからも大事にしていきたいです。さまざまな人の協力で仕事が体験できたことにうれしく思いました。



職場体験に協力いただいた事業所  
ふたば保育園、ふたば児童センター、  
ふたば横山保育園、仁風荘、ソーレ  
大石田、菅野測量設計、国土交通省  
新庄河川事務所大石田出張所、尾花  
沢市消防本部、大石田郵便局、あつ  
たまりランド深堀、美容室ビーンズ、  
JA大石田宮農センター、大石田ゴ  
ルフクラブ、そば吉峰、喫茶トトロ、  
桐井電気工業、笹金板金、木内商店、  
庄司薬局、横丁とうふ店、カクイチ  
商店

## 「働く」ってどういうこと?

大石田中学校の2年生56名が、7月5日(木)、6日(金)の2日間にわたり町内約20か所の事業所で職場体験を行いました。これは「働くこと」を通じて人の役に立つことの喜びや達成感を味わい、働くことについて考えてもらうことを目的に毎年行われているものです。

今回、役場総務課で職場体験を行った大山愛理さん、小玉空さんの2人は町内各地の事業所で体験する生徒や大人たちの取材から紙面づくりまで行い、「働くこと」の意味について考えました。



## あつたまりランド深堀

(齋藤匡さん、今野佑泉さん、高橋由衣さん)

受付での接客や「虹の館」の風呂、廊下の掃除を体験しました。あいさつの仕方やおじぎの角度、受付での姿勢を学び、元気に「いらっしゃいませ」と明るい接客を心がけました。虹の館では朝のミーティングにも参加し、大きな風呂や長い廊下の掃除を体験し、お客さんに気持ちよく過ごしてもらうためこんなに細かいところまで気を使っているんだと、驚き勉強になりました。

## カクイチ商店

(安達結子さん)

開店準備として窓拭きやはき掃除、お店に商品を並べる作業を体験しました。また、発注された商品を数えて車に積み込み、配送先に届ける仕事も体験しました。お店に果物などを並べる作業では、お客さんにおいしさが伝わるように気を使って並べなければいけないということ学びました。配送先に荷物を届けると「ありがとう」と笑顔で受け取ってもらえました。



## 大石田保育園

(海藤みあさん、井刈真菜さん)

3歳児・4歳児の保育を体験しました。絵本の読み聞かせやおままごとなどで子どもたちと一緒に遊べました。読み聞かせでは子どもたちが絵本の取り合いになってしまい困りましたが、「一緒に読もう」と声をかけると仲良く楽しんでくれました。個性が違う子どもたちにはじめは戸惑いましたが、子どもたちのほうから「一緒に遊ぼう」と声をかけてもらい、とてもうれしかったです。